



保育室や廊下を風が吹き抜け、七夕の短冊やうす布の天の川がサラサラゆれていました。子どもたちが気づいて、見上げては「あー！」と言って指さしていました。梅雨時期なのに、今年は晴れた七夕でした。でも、豪雨の地域もあり、これからの雨が穏やかに降ってくれることを願います。

梅雨が開ければ、わくわくする夏が始まります。ちょっと暑くても、ひよこ組の子どもたちも水遊びや木陰の散歩などを楽しんだり、涼しい室内で気持ちよく遊んだりして夏を元気にすごしていきます。



短冊に書いたお願いはなあに？

☆新しいお友だちの紹介 よろしくネ!



O・U 君と T・S 君です。

仲良く一緒にいっぱいあそびましょうね。

☆ ポトン ポトン は何の音？

布張りのミルク缶にブロックやお手玉をポトン、ポトンと入れたり、出したりして遊ぶようになりました。つないだハンカチを次々に引っ張り出しては“まだあるかな？”と中をのぞいています。見えなくても手を入れて探り当てます。予想や“あるはずだ”と確信出来るようになり、知的好奇心が芽生えてきています。探索意欲を大切にしたいと思います。



☆ スープの大好きな子どもたちです。 野菜たっぷりのスープはいかがですか。

- ・材料 (一人分) オクラ半本 なす中1/4本 トマト中 1/4個 玉ねぎ 1/6個 油小さじ1 塩ひとつまみ
ベーコンとしめじは食べられるなら10gずつ 水200cc スープのもと1/2個 粉チーズ少々
- ・作り方 1. オクラは茹でて刻む。 2. なすは皮をむいて薄切りにし、水にさらす。
3. トマトは湯むきし、種を取り、刻む。ベーコン、しめじ、玉ねぎも刻む。
4. 鍋に油を熱し、2. 3. を炒め、水とスープのもとを入れ煮込む。
5. 4がほぼ煮えたら、1. を加え、塩、チーズで調味する。

冷えても美味しいスープです。

☆ふれあいあそびの紹介 ♪ トントン パチパチ ♪ お子さんと向かい合って遊んでくださいね。

歌 トーントン パーチパチ うさぎさん トーントン パーチパチ たぬきさん
 トーントン パーチパチ きつねさん トーントン パーチパチ こねこさん にゃーお!
 (両手を互いに合わせてトントン 手を叩いてパチパチ 動物は手で耳、お腹をぽんぽん、
 指で目をつり上げ、鼻に親指を当てて残り4本の指はおひげに) (福岡 尾崎 有蘭)



「きれい」

7月5日(金)が、保育園の七夕まつりでした。すみれぐみの子どもたちは、青色(夜空に見たてた)の色画用紙に星のきらきらシールを貼りました。小さいシールだったので、上手く台紙から剥がせない子どももいましたが、保育士が台紙を山折りにし、シールを剥がしやすいようにすると、貼る事が出来ました。星のシールを貼った色画用紙を繋げて壁にはると「天の川」が出来ました。子どもたちは少しずつ天の川が出来る様子を見て、「おー」や「ほし、いっぱい」「きれい」と思いを言ったり、天の川に背伸びをし小さな手で触れてニコニコして喜んでいました。天の川を見て、キラキラ星の歌を口ずさむ子どももいたので、一緒に歌い七夕の雰囲気味わいました。「きれい」と感じる子どもたちの感性を大切にしていきたいと思います。



「お話しましょ」

今までは、単語やしぐさで、自分の思いを伝えることが多かった子どもたち、最近、月齢の高い子どもたちは、友だちが泣いていると、「だれがしたの?」と、心配そうに聞いたり、困った事があると、「たっくん、してー」や「せんせい、これ、あけて」と、友だちや保育士にお願いしています。玩具の取り合いの時は「おうたの一」と、取られないように自分の思いを表すようになってきました。月齢の低い子どもたちも、救急車が通ると「ピーポーピーポー」と、見たものを、言葉で言えるようになってきました。子ども同士での言葉のやりとりが聞かれるようになってきたり、子どもの世界が広がっていることに、喜びを感じます。月齢に応じて、ままごと遊びや、触れ合い遊びなどで、「はい、どうぞ」「ありがとう」等の言葉のやりとりが出来るように、遊びを計画して、育ちを支えていきたいと思います。



「自分でする」

今、子どもたちはズボンを自分ではこうしています。一つの穴に両足入れてしまったり、前後が反対になったりしながらも一生懸命頑張っています。上手にはけた時は「できた」と嬉しそうに笑顔で教えてくれます。「すごいね」「上手にはけたね」と言葉をかけ一緒に保育士も喜ぶと、子どもたちは「自分でできた」と自信へと繋がっていきます。ジーンズやスパッツのようなズボンは、はきにくいようでなかなか履けないこともあります。これからも「自分でやる」という思いを大事にし、見守りながら、時にはさりげなく手伝い意欲を大切にしていきたいと思います。



大好きな絵本の紹介

「かおかおどんなかお」

絵本の中で、笑った顔や、泣いた顔、いたずらな顔が、出てくると、子どもたちは、保育士の真似をしたり、自分で考えて色々な表情をしては、笑って喜んでいきます。大好きな絵本なので「読んでー」と、催促しています。





2019年7月10日(水)

例年に比べ梅雨入りが遅く、蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは暑さに負けず元気いっぱいです。今月は水遊びや泥んこ遊び、ボディペインティングなどを夏ならではの遊びを楽しみたいと思います。



「パプリカあった」

毎朝いろんな体操をしています。今、子どもたちが好きな体操は、以上児クラスが運動会で踊った『パプリカ』です。「体操しよう」と子どもたちに言うと「パプリカがいい!!」と返ってきます。

ある日の給食時間。「パプリカあったよ」とおかずの中にパプリカが入っていることに気づいた蒼大くんがクラスみんなに教えてくれました。他の子どもたちもおかずの中からパプリカを探し「これパプリカ?」と保育士に聞いたり、「パプリ〜カ♪と一緒にやね」とパプリカに興味津々。パプリカを見つけると、大きく開けた口の中に入れて食べていました。野菜嫌いの子どもの日はパプリカを残さず食べていました。

保育園の畑にできている野菜を見に行ったり、野菜に関する絵本を読んだり、野菜に興味を持ち少しずつ苦手な野菜を食べることが出来るようになるといいなと思います。



「星いっぱい」

7月7日は七夕。ちゅうりっぷ組では、5日に織姫と彦星が会えるよう、画用紙に紺色の絵の具を塗って天の川を作りました。絵の具を塗り、保育士がクレヨンで描いておいた星が浮き出ると「お星さままだ!!」と嬉しそうな子どもたち。画用紙を並べて飾ると、

「お星さまいっぱい」

「これ〇〇のよ」

などと言いながら、自分たちが作った天の川を見ていました。



みんなの願い事が叶いますように…

絵本の紹介

「いっしょにあそぼう あいうえお」

赤ちゃんが口を大きく開け「あ」と言うページから始まり5人家族が「あ・い・う・え・お」の口の動きを楽しく教えてくれる絵本です。子どもたちは口を指で横に広げたり、口をとらせたり絵本の真似をしながら見えています。繰り返し読むうちに覚えたようで、遊んでいる時やお昼寝の時間に「あ、大きく開けてあ〜」と言っていますよ。

あいうえお



ちゅうりっぷ組 担任：草場・船石



発行：令和元年7月10日（水）

北九州もようやく梅雨に入りました。今年の梅雨は長くなりそうですが、雨の合間の晴れた日には、「今日は外であそべるね！」「早くお外に行こう！」とおもいきり外あそびを楽しんでいます。外を眺めては「もっと暑くなったらプールであそぶんよね？」「梅雨が終わったら夏になる？」と夏の訪れを待ちきれない様子の子どもたちです。



お空に届け～☆

七夕に向けて、七夕の絵本を読んだり歌をうたったりしていると、空を見上げながら「織姫と彦星ってどこにいるのかな？」「雲の上にいるんじゃない？」と話していた子どもたち。ある日、空を眺めていると、いつもよりも早く雲が動いていることに気づき「雲が速い！！」と驚いていました。しばらく不思議そうに空を眺めていた子どもたちでしたが、ふと思い出したように「もしかしたら、雲に乗って織姫と彦星がお買い物に行ってるのかも！」「雲に乗って、織姫と彦星が遊んでるのかな？」「七夕の日も雲に乗って織姫と彦星が会えたらいいなあ」と夢を膨らませ、きらきらした表情で空に想いを馳せていました。

七夕まつり当日、たんぼ組が手作りのロケットに願いをのせて飛ばしている様子を見た子どもたちは、部屋に戻るとすぐに「ロケットでお空にお願いごとを届けよう！」「ロケットで織姫と彦星に会いに行こう！」とロケットになって、織姫、彦星に向けて高くジャンプしていました。

こすもすぐみの想いはきっと、織姫と彦星に届いたのではないのでしょうか…☆



どうしたら粘土になるのかな？

小麦粉、片栗粉など身近にある様々な素材を使った感触遊びを経験しています。小麦粉粘土をつくって遊んだことです。“今日は粘土をつくって遊ぼう”と小麦粉をみせると「えー！全然、粘土みたいになってない。さらさらの粉じゃん」と少しがっかりした表情の子どもたち。私が「粘土みたいにして遊びたかったのに…どうしたら粘土になるかなあ？」と話すと、「ちょこっと、水を入れてみたら粘土みたいになりそう！」と声があがり、水を入れてみることにになりました。みんなで水量を確かめながら少しだけ水を入れ混ぜてみますが、ぼろぼろと崩れ粘土のようにまとまりません。“なんでだろう”と悩んだ子どもたちでしたが、「さっき水を入れたら少し粘土になったよ」「じゃあ、もう少し水を入れてみたらいいかも！」と水の量が関係していることに気づくと、少し水を入れてはこねてを繰り返し、やっと粘土が出来上がりました。子どもたちは、「いつもの粘土と違って、びよーんって伸びるよ！」「ふわふわして気持ちいい！」と油粘土とは違う感触を楽しんでいました。小麦粉に水をたくさん入れすぎてしまい、汁状になっている子どももいましたが、それでも子どもたちはその中に両手を入れ、その水っぽい小麦粉粘土の感触を楽しみ、「ねばねば～」「手に引っつく～」と言って、夢中になって遊んでいました。

初めての小麦粉粘土作りでは、水っぽい小麦粉の新しい感触を体験することができ、またその中で、小麦粉と水の量の関係性や油をどうして入れるのか、など子どもたち自身が経験を通して、気付いたり、学んだりしている姿が見られました。また次回、小麦粉粘土作りをした時に、今回の経験を踏まえて、子どもたちがどんな風に作っていくのか楽しみです。子どもたち自身が経験の中で立ち止まって考えたり、気付いたりすることをこれからも大切にして、育ってほしいと願っています。

3歳児担任：木山・田中



ひまわりだより

令和1年7月10日(水)

北九州もやっと梅雨入りしました。雨の恵みを受けて、子ども達が種をまいた朝顔やひまわりがグングン生長し、花やつぼみをつけています。芋のツルも畑一面に太陽の光を浴びようと葉っぱを広げて待ち構えています。自分の手で植えた花や野菜の育ちを見ていくことで、梅雨の長雨と夏の暑い日差しなど夏の自然現象が動植物の生長に大切にに関わり、実りの秋へと向かっている事に気づかせたいと方向づけをしています。

新しい仲間がやってきたよ！

・(カタツムリ) 雨降りの朝、あみちゃんのお母さんが園庭で見つけた1匹のカタツムリを持ってきてくれました。すぐに子ども達は興味を示し、集まってワイワイガヤガヤ。「飼ってみる？」の問いかけに「うん、飼いたい。」子ども達に生き物の世話をしてもらいたいと考えていたので、グッドタイミングでした。図鑑で飼育方法を調べ、名前をつけることにしました。「りぼん」「じゃっく」「ぷりん」「ぴー」とたくさん候補が出たので、多数決で決める事になり、接戦を制したのは、かなた君の「ぷりんちゃん」でした。翌日早速ニンジン、レタス、キュウリを持ってきてくれた、たつき君、あつき君、そう君、ひかり君。プリンちゃんはニンジンを食べて橙色のうんち、キュウリを食べて、黄緑のうんちをしていました。「見て見て！うんちの色、面白いよ！」と気づいた事をみんなで楽しそうに話しながら世話をしていました。

・(かぶと虫) 梶原りんちゃんのお母さんが、大きな箱をプレゼントしてくれました。中身は立派な角のかぶと虫のオスとメスが合わせて5匹。これもみんなの希望で飼うことになりました。何を食べるのか子どもに図鑑で調べてもらおうと、『樹液を吸う』との事なので昆虫用のゼリーを与える事にしました。

毎日、熱心に観察している子ども達。カタツムリやかぶと虫の世話を通して、どのようなことに気付いてくれるのかなと期待を膨らませています。

ここねちゃん



ひかりくん



しゃぼん玉で作ったよ！

梶田小学校の5年生が遊びに来た時に、名前を聞いたり、握手をして触れ合った後、一緒にしゃぼん玉遊びをしました。「部屋でしゃぼん玉はできんよ。」と言っていた小学生も机の上でしゃぼん玉を始めると子どもに返り、夢中で膨らませていました。途中で先生が「帰るよ。」と呼びに来ました。5年生に玄関で「バイバイ。また来てね。」と声を掛け見送ると、「また来るね。」とタッチをして帰りました。部屋の窓から姿が見えなくなるまで手を振っていた子ども達です。それからしゃぼん玉遊びの続きをしました。「いもむし、ハチの巣、おしり」など一人遊びから、「お家、やま、お城」と友だちとしゃぼん遊びを楽しんでいました。



聞いて考えて胸に溜めて発表する

7日の「七夕」に向けて、歌を歌ったり絵本を見て行事のいわれを知りました。「短冊にどんなお願いを書きたい？」と聞き、一人ひとり発表しました。「宇宙飛行士になりたい(りょうと君)」「恐竜博士になりたい(しょうま君)」「自転車に乗れるようになりたい(ひろむ君)」など現実的な願いの言葉が多く、集会での園長先生のお話が心に響いている事に驚きました。空への興味が強く、「夜、星を探してみる。」という声も聞こえました。

笹の葉で笹船を作って、川に流しに行こうと計画しています。

担任・中西、桑原

たんぽぽだより 7月号

2019年7月10日(水) 発行

梅雨はまだ続いていますが、日々30度を超えるような蒸し暑さが盛夏の訪れの間近さを感じさせます。そんな梅雨の雨と夏の陽ざしを浴びて、植物や野菜がぐんぐん生長し、日々大きくなっていく姿に子ども達は驚きと発見の毎日です。

★七夕まつり

7月5日の七夕まつりは、どんな会にするかを話し合い、取り組んでいきました。「プラネタリウムに行ったときいろんな星座があったよね」や「(科学体験で)袋でロケット作って飛ばしてたよね。保育園でもしたいなあ」とプラネタリウム鑑賞・科学体験での経験を元にアイデアが次々と出ていました。

星座に関する本をクラスに置いておくと、自分の誕生日の星座、家族の星座、夏の星座…と広がっていき、どんな形をしているか等にも興味を持ち、3歳児、4歳児にも分かりやすいようにと図で表現していました。

当日は七夕や星座に関するクイズを出したり、短冊に願いを込めてロケットに飛ばしたりしました。子ども達の思いがたくさん詰まった会になりました。



行事を通して様々なことに関心を高め、疑問なことは本で調べたり、家の人に聞いたりするようになりました。

日々の生活の中でも「なぜ?」「どうして?」という場面が増え、積極的に調べています。

子ども達の視野が広がり、さらなる学びへと繋がるよう、交通機関を使い、図書館に行く計画を立てています。



園庭の朝顔やひまわりが咲き始めました。朝顔は紫やピンクの花が次々に花開き、一日でしぼむ儚さにも気づいています。散った朝顔を使った色水遊びに夢中な子どもたち。すずなちゃん、りさちゃん、ななちゃんは色水ジュースを作り、なおきくんやかいとくんは透明の水から色が変わる様子を見て楽しんでいます。色水遊びから、混色にも気づき、色を混ぜると違う色になる発見や楽しさも味わうことができるようにしていきます。

5歳児担任：井上・本崎